



ふじさわ体協

発行・編集 藤沢市体育協会

〒251-0026 藤沢市鵠沼東8-2 秩父宮記念体育館内

URL <http://www.fujisawa-taikyo.org/>

2020

江の島セーリング競技の 成功を目指して

平成28年10月10日(土)に藤沢商工会館ミナパーク6階で、藤沢市体育協会主催、藤沢市・藤沢市教育委員会共催により2回目となる「聖火ランナーの集い」を、「20江の島セーリング競技の成功を目指して」と新たな目標を掲げ開催しました。

集いには、1964年東京五輪の際の聖火ランナーの皆さんを始め、鈴木恒夫藤沢市長、佐藤春雄藤沢市議会議長、吉田早苗藤沢市教育長他大勢の皆さんにお集まりいただきました。



聖火ランナーの集い

場所、同じマリナーで開催されることは、記憶と記録に残ることと話されまし。また、リオ五輪のセーリング競技の会場や各



講話される齋藤愛子さん

第一部ではリオ五輪日本代表セーリングチームリーダーの齋藤愛子さんに講演していただきました。休憩の後乾杯し、リオパラリンピック自転車競技に出場した石井雅史選手のお話、聖火ランナーの紹介の後、全員で記念写真を撮り、集いを終えました。

齋藤さんの講話



齋藤さんは、1964年からデンマークとの縁により江の島で始まった『江の島ジュニアヨットクラブ』に入ってヨットを始められ、江の島で成長したこと、江ノ島が五輪のセーリング競技史上では唯一、同じ



講話される石井雅史さん

国が用意した付帯施設の説明を、豊富な写真で紹介され、テレビ等で観戦するセーリング競技とは違った、開催地という視点からセーリング競技の運営についてお話されました。さらに特別ゲストとして、デンマークセーリング協会のハンス会長、日本セーリング連盟参与の大谷たかをさんも参加され、ITを活用したセーリング競技の新たな観戦の可能性のお話があり、2020年に向けて期待が膨らみました。

石井さんの講話



石井さんは、競輪選手としてのロードワーク中に事故に会い、一度は競技者としての活動をあきらめたものの多くの人の助けにより、パラリンピックに3回出場されたこと、競技ではどんなに実力があっても、メンタル面が非常に大切であること、今後は、競技者としての活動については終了し、後進の指導にあたることを希望としてお話しました。(榊原)



4年ぶり2度目の 「湘南ボーイズ」全国優勝



優勝を喜ぶ選手・スタッフ・家族の皆さん

「第10回全日本中学校野球選手権大会ジャイアンツカップ」において、神奈川県代表の「湘南ボーイズ」チームが全国1537チームの頂点に立った。1回戦は逆転勝ち、2回戦は大勝してベスト8に勝ち上がり、準々決勝では、神奈川県内の会場で行われ、シーソーゲームの中で、最終回に逆転勝ちを収めた。準決勝は優勝経験のある千葉県代表チームに7対1で勝利し、決勝は大応援団の声援を受け、福岡県代表チームを投手陣の活躍で1

点に抑え、5対1で下し、4年ぶり2度目の優勝を果たした。4年前のチームは、プロ野球に進んだ小笠原投手ら擁して優勝したが、今回は全選手が力を出し切り総合的なチーム力で、優勝をつかめたとのことであった。

「湘南ボーイズ」は中学生を対象に、野球と勉強の両立を目指す硬式野球チームです。あいさつ、大切、集中、協力、一生懸命の五つの約束から始まり、「考える野球」が湘南ボーイズのキーワードとのことです。こうした日頃からの精進が、日本一に結びついたのでしょう。

田代栄次監督は、「部員167名と父母、スタッフ全員の力で優勝することができました。今年は突出した選手がいない中で、大きなミスもなく、チーム力で勝つことができました。

夏休み中はほぼ休まずに練習してきた選手たちがよく頑張ってくれました。劣勢の試合が多い中、一戦一戦成長していく姿や、最後に力を出して日本一を達成した姿は、とても頼もしかったです。」と選手やスタッフ、家族を称えられた。

(杉測)

「夢基金による

加盟競技団体への強化費支給」について

理事長 八幡満夫

藤沢市体育協会では、昨年度4月から本協会の規約第4条目的の「競技力向上強化普及」を達成するために特別委員会を新たに設置し、藤沢市医師会のご協力を得て10人の委員で議論を深めてきました。

その結果、「競技力強化普及」を推進していくためには、当然ながら強化普及に関わる十分な財源の確保が喫緊の課題になりました。そこで特別委員会では「夢基金」を新設し、本協会の主催行事等（聖火ランナーの集い、加盟団体会長会、スポーツ人の集い、加盟団体主催競技会等）で寄付を募ることとしましたが、各方面に働きかけが充分でなかったために残念ながら「強化普及」を推進していくだけの「夢基金」は充分に募ることはできませんでした。

しかし今年度より強化費の支給を前提に取り組んできましたので、次のような強化費支給の基準を特別委員会と理事会で確認しました。前年度のスポーツ人の集いの優秀選手賞、優秀団体賞を受賞した個人や団体を対象とし、当面の運用方法として「強化」を優先し、「普及」は今後の課題としました。

そして現在の「夢基金」の規模から一加盟団体に複数の個人や団体が対象であったとしても、個人には一加盟団体に二万円、団体には二万円をそれぞれ支給することとしました。

これを踏まえて、特別委員会では10月に各加盟団体の強化部、普及部、育成部の代表者会合で支給対象加盟団体に初めて「強化費」としてお渡しすることができました。

またこれ以外に、各加盟団体に所属し、国際大会等に出場した選手に三万円の強化費を支給する制度も「夢基金運用基準」に併せて設けています。その第1号支給者は「第8回世界大学ビーチバレー選手権大会」に日本代表で出場しました「但野瑠勇」君に強化費として会長より8月のビーチバレーボール大会の会場で渡されました。

今後の課題としては「強化普及」を安定して推進を図るためには、「夢基金」の募金と賛助金の拡大を本協会が一丸となつて取り組んでいく必要が急務であると考えています。また、藤沢市体育協会の組織強化を図るためにも法人化に向けた取り組みなども大きな課題です。

東京オリンピックピックのスポーツクライミング競技について

藤沢市山岳協会 会長 東 昭一

スポーツクライミング競技は、東京オリンピックで日本は、男女2個の金メダルが期待されている種目です。今、若者に超人気で藤沢にも4か所のクライミングジムが出現しています。クライミング人口は、全世界で350万人、日本で60万人と言われています。

世界で最も強い選手は、18才ですが、しかしながらマイペースで出来る生涯スポーツでもあります。

東京オリンピックでは、3種目の総合成績で競います。

リード種目は、高さ15mの人口壁で制限時間内に登った高さを競います。ボルダリング種目は、高さ5mの壁で制限時間内に登ったルートの本数を競います。又、ス



リードクライミング教室に参加している皆さん



ボルダリング教室参加している皆さん

ピード種目は、高さ15mの壁を登った速さ(時間)を競います。

東京オリンピックの会場は、東京お台場のクライミング会場(特設)です。是非応援に行きましょう。

藤沢市山岳協会では、スポーツクライミングの普及活動をしており、小学生を対象に市内各地の公民館に移動用ボルダリング壁を持ち込みボルダリング教室を開催しています。

又、秋葉台文化体育館で年に2〜3回リード(トップロープ)クライミング教室を行っています。

大人を対象に県立山岳スポーツセンター(秦野市)で高さ15mの壁で本格的なクライミング教室も開催しています。

第4回湘南藤沢スポーツフォーラムの開催

10月22日(土)14時30分より、藤沢市医師会健康スポーツ医部会、藤沢市、みらい創造財団と共催で、スポーツフォーラムが開催された。

講演1は「スポーツと栄養」をテーマに、大学スポーツのトップアスリートの日々の食事をデザインされていた帝京大学スポーツ医学センター管理栄養士の虎石真弥氏がお話され

た。スポーツ選手にとって、食べることとはトレーニングの一環であり、食事↓運動↓休養とケアのサイクルでバランスを保っている。身体づくりに、エネルギー、体の構成、コンディションを担う食事をとることが重要である。

特に、エネルギー源のための、炭水化物はビタミンB1と摂取がよ

いなど貴重なお話をした。

講演2は野球評論家で元慶応大学野球部監督の江藤省三氏が、「勝負と育成」を

テーマにお話された。藤沢には縁あって週に1回くらい来ており、静かな街並みが良い。プロ40年、アマ10年野球と関わり、どうやって子どもたちを育てるか日々勉強中である。野球は楽しい、好きでなければ上手にならない。技術がある選手にはもっと練習すれば、さらにうまくなるよと後押しをします等経験豊かなお話をした。(杉測)

スポーツ講演会を開催

藤沢市体操協会

8月6日(土)恒例の市民継承大会(秋葉台体育館)に合わせて、体操協会関係者を対象に、「夏のスポーツと仲良くなるために」医師と管理栄養士からのメッセージ」と題して講演会を実施しました。

講師として、数野隆人先生(藤沢脳神経外科院長)、吉川恵美氏(管理栄養士)をお迎えし、厳しい暑さ

の夏季においても健康的にスポーツを行うコツをご紹介頂きました。参加者、皆、とても勉強になりました。今後の継続開催も検討していきたいと考えています。(新村)



スポーツ講演会



講演中の江藤省三氏

第7回 湘南藤沢カップ 全国中学生ビーチバレー大会

8月13日(土)、14日(日)に「第7回湘南藤沢カップ全国中学生ビーチバレー大会」が開催されました。



ビーチバレー大会・スパイクを打つ

大会には、男女93チームが参加し、開

会式に先立ち、元オリンピック選手によるビーチバレー教室が行われました。また、開会式では「第8回世界大学ビーチバレー選手権大会」に日本代表

チームで出場しました藤沢市鶴沼海岸在住の、但野瑠勇選手に藤沢市体育協会夢基金より、大縫会長から強化費が渡されました。

大会は男子が沖縄県代表西原東中学校Aチーム、女子は神奈川県代表茅ヶ崎市立西浜中学校が優勝しました。地元藤沢市では女子の藤ヶ岡中学校が準優勝、男子は御所見中学校が3位と健闘しました。年々参加チームが増えレベルアップが見える本大会参加選手の中から、夢は将来のオリンピック選手誕生です。

(荒井)

2019 ラグビーワールドカップ

日本開催に向けた地域活性化

世界三大スポーツイベント(オリンピック・サッカーWC・ラグビーWC)のひとつラグビーワールドカップが2019年に20カ国が参加して日本全国12都市で開催されます。決勝は横浜国際総合競技場で開催されることが決まっています。

日本ワールドカップ組織委員会の要望による県内の横浜市・藤沢市等、地域活性化を目的とするラグビー招待試合が昨年から行われ、藤沢市ラグビー協会では要望に準じて、藤沢市内のラグビー選手育成と強化、及び藤沢市民にラグビー観戦の場を提供しています。今年度の10月1日に県内所属の東海大

と拓殖大の公式試合が行われ、秋葉台球場に藤沢市民など、約1,000名が観戦・応援等にご来場しました。

藤沢市ラグビー協会ではラグビーワールドカップ開催を盛り上げる為にも藤沢市と市内の種目団体のご理解とご協力を得て、今後

も多くの藤沢市民を対象に地域活性化に貢献させていきます。

(フーサイド)



10月1日 秋葉台球場 東海大 vs 拓殖大

健康コラム

管理栄養士 吉川恵美

日に日に寒さが増すこの頃。今年もインフルエンザの季節がやってきます。定期的な運動と食事で代謝を上げて体を活性化し、免疫力を高めておきましょう♪

そこで今回は寒い季節のお食事についてのワンポイント。基本的には、冬野菜を中心に、体を温める食材を取り入れて食べることが大切です。体を温める食べ物の代表として、生姜、ねぎなどがあるのですが、これらは発汗作用も高く、風邪の予防にも効果を発揮します。さっと刻んで汁物や料理の仕上げに加えると良いでしょう。

更に冷え性の方は、海老や鮭、羊肉、ニラ、黒砂糖などがおすすめ。体の内側から臓器を温めてくれます。鮭の入った石狩鍋や、黒砂糖入りの紅茶など、普段の食事に少しずつ取り入れてみてはいかがでしょうか？

寒い冬は、温かい体で元気に乗り切ってくださいね。



編集後記

2020 東京五輪に向けて方向が見通せず懸念している。江ノ島がセーリング会場となる藤沢では、気持ちのこもった歓迎をしたい。健康に関する記事を多く掲載した。

スポーツフォーラムのお二人の講演は選手にとっても指導するひとにとっても役に立つお話であった。今年も残りわずか。バランスのとれた食事を心がけたい。

(杉渕、大川)

第32回 スポーツ人の集い

◆日時 平成29年2月18日(土) 午後3時～
◆会場 藤沢市民会館小ホール

第1部 講演会

第2部 式典

藤沢スポーツ賞表彰式

この1年間に活躍した選手・団体を表彰



■プロフィール■

小泉 勲 氏

メキシコオリンピックバレーボール男子銀メダリスト
第2回ワールドカップ大会ベストスパイカー賞受賞
NPO法人日本バレーボール・オリンピックの会理事長